

よしおか

議会だより



群馬県吉岡町議会

No.120

2018.7.20

6月定例会

経営状況報告	(株)吉岡町振興公社 総売上高816万円増	2
一般質問	6人が町政を問う	7
特別委員会リポート	地方創生対策・議会改革推進特別委員会活動報告	14

「ねえ！お母さんみててできるようになったでしょ」
(説明17ページ)

吉岡町議会

検索



第2回 定例会

平成30年第2回定例会は、6月4日から13日まで、10日間の会期で行いました。議案3件、同意1件、承認2件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。また吉岡町振興公社の経営状況など、報告4件がありました。

食堂売上高増 上武国道開通影響が

平成29年度吉岡町振興公社の事業報告、および30年度の事業計画の報告がありました。

当期総売上高は、1億9043万円（前年対比816万円増）でしたが、人件費7781万円（270万円増）、一般管理費では燃料費、修繕費および減価償却費などが7102万円（539万円増）、食材費などの増加で純利益564万円（140万円減）でした。リバートピア吉岡の

年間温泉入館者数は、通年券や半年券での入館者の減少により27万6106人（3257人減）ですが、4時間券の入館者が2591人増で、昨年度以降入館者の下げ止まり傾向。収入では、通年券収入が減少したものの、温泉施設売上高・売店売上高が増、特に食堂売上高は5839万円（497万円増）で、純売上高1億4874万円（639万円増）でした。緑地運動公園の年間

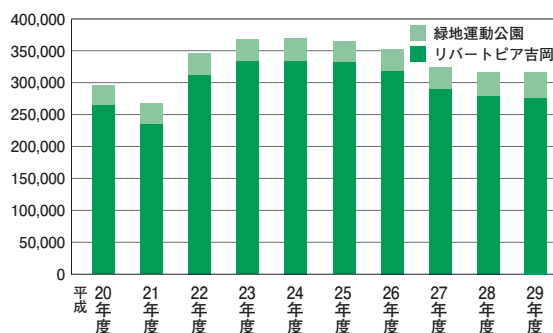


老人クラブ主催グラウンドゴルフ大会

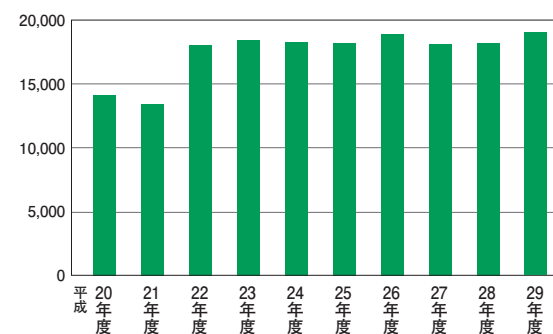
(株)吉岡町振興公社経営状況報告

売上高上がるも収

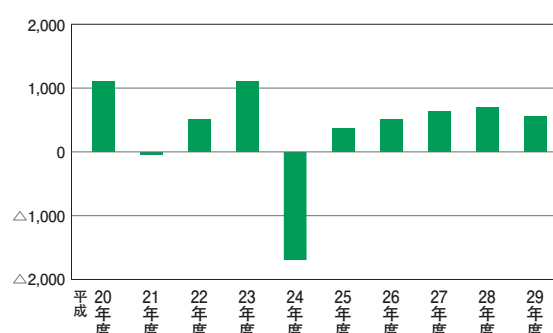
利用者数の推移



総売上高の推移



純利益の推移



利用者数は、ケイマンゴルフ5148人(1051人増)、パークゴルフ1万9741人(751人増)、グラウンドゴルフ9839人(461人増)、テニス4554人(120人減)。合計利用料は1797万円(186万円増)でした。

施設を取り巻く環境として、上武国道の全線開通によりアクセス性は向上しているほか、駒寄スマートIC

の大型車対応化の予定で広域的な利用者の増加が期待されます。

30年度事業計画では、新聞・テレビなどマスコミ効果の利用でPR活動の充実をはかり、複合施設としての魅力を発信することにより、町民はもちろん県内外に向けた誘客活動に取り組みます。

緑地運動公園では、グラウンドゴルフ場をパークゴルフとグラウンドゴルフの併用利用

による全国公認コースの取得のための申請を予定しています。

問 前橋市に同じような施設ができるが、対応策は。

答 前橋市の道の駅を脅威と考えると、いいところ・ないところを補って相乗効果を生み出したい。

問 ケイマンゴルフが、利用者数・利用料共に25%増加している要因は。また、ケイマンゴルフに注力が必要

と思うが。

答 上武国道開通から町外の利用者が増えている。パークゴルフの36ホール化もケイマンゴルフをつぶすのではなく、グラウンドゴルフの一部併用の方向。

問 最近温泉に入れ墨をした人が多くいるが。

答 積極的に注意を促したい。

土地開発公社の

経営状況報告

繰越準備金は

2234万円

平成29年度吉岡町土地開発公社の事業としては、公有地取得事業の用地取得および用地売却はありませんでした。決算額は収入2768万円、支出199万9600円で、199万6832円の損失を計上しました。

問 公社所有のマイク
ロバス2台は、実

際公社の利用はない。
一般会計へ繰り入れる
必要があると思うが。

答 公社利益の運用の
形で管理している
ので、現状維持で考
える。

税条例の一部改正

固定資産税の負担調整措置の継続

税制改正にともない、
地方税法の一部を改正
する法律が平成30年3
月31日に公布され、税
条例の一部を速やかに
改正する必要があるた
め、まちは専決処分
をし、議会に承認を求
めたものです。

改正された主な内容
は次のとおりです。

○3年に1度実施され
る固定資産の評価替え
が、平成30年に実施さ
れますが、平成9年以
降実施されている固定
資産税の負担調整の仕
組みの適用期限を、今

後の3年間も適用する
ものです。(固定資産税
の急激な増加などを抑
制するもの)

国保税条例の一部改正

軽減税率の拡大5年連続

地方税法施行令の一
部を改正する政令が公
布され、施行期日が平
成30年4月1日である
ことから、本条例の一
部を速やかに改正する
必要が生じたため、ま
ちは専決処分をし、議
会に承認を求めたもの
です。

改正された主な内容
は次のとおりです。

○基礎課税分を4万円
引き上げて58万円、後
期高齢者支援金課税19
万円と介護納付金課税
16万円は据え置きとし、
課税限度額を93万円。
(高所得者に負担を求め
るもの)

○5割軽減の場合
基礎控除額33万円に
加算される27万円を27
万5千円とする。

○2割軽減の場合
基礎控除額33万円に
加算される49万円を50
万円とする。
(軽減税率の拡大)

一般会計補正予算

総額

73億4026万円

歳入の主な補正

増額

国庫補助金

防災無線デジタル化事業 2661万円
(交付額内示によるもの)

繰入金

財政調整基金より 1975万円

諸収入

駒寄スマートIC大型化事業に係る
前橋市負担金 5759万円
(歳出増にともなう増額)

町債

防災無線デジタル化事業 1210万円
(歳出増にともなう増額)

歳出の主な補正

増額

駒寄スマートIC大型車対応化事業 7700万円

(当初予定より工事範囲が広がったため、
町内工区の施行量増にともなうネクスコ
への委託料増加によるもの)

防災無線デジタル化設置工事 3870万円

(国庫補助金の増額にともなうもの)

損失補償金 56万円

(小口資金融資)

私たちが慎重に チェック

委員会 審査

総務常任委員会が6月7日、文教厚生常任委員会が8日に行われ、付託された議案などについて審査しました。

総務

戸別受信機の交換始まる

一般会計補正予算のほか、議案1件、承認1件について審査しました。

一般会計補正予算

問 防災無線デジタル化設置工事に国庫補助金2661万円が増額になったが、工事の概要は。

答 子局17局の改修予定を20局とし、全局の改修が終わる。また戸別受信機250台も交換する予定。

問 今回の工事で、平成34年の工事終了予定が早まるのか。

答 来年度の補助金が前倒しで入った。工事終了時期は変わらない。

問 損失補償金56万円とある。小口資金の融資に当たり、危険性の有無をよく審査すべきでは。

答 今後も慎重に審査していく。

税条例の一部改正

問 個人町民税改正の主な内容は。

答 給与所得控除・公的年金などの控除の一部を基礎控除に振り替える措置にともない、給与所得850万円以上の人は税負担が増え、自営業者などの人は税負担が軽くなる。

問 たばこ税改正の主な内容は。

答 たばこ税は、平成30年10月と、32・33年の3回にかけて、国・地方あわせて1千本当たり3千円の増税となる。さらに、加熱式たばこは、5年間かけて本数への換算方法の見直しをし、紙巻たばこの7割から9割程度の税額になることが見込まれる。

文教厚生

国民健康保険税における高所得者の負担増

承認1件および議案1件について審査しました。

国民健康保険税条例の一部改正

問 今回の改正の主な内容は。

答 基礎課税額分の限度額を4万円引き上げ、課税限度額を89万円から93万円とし、高所得者に負担を求めるもの。また、軽減措置の5割軽減と2割軽減の対象世帯を拡大、被保険者間の税負担の公平の確保と中低所得者層の税負担の軽減をはかるもの。

問 今回の改正により、課税限度額を超える対象世帯数は。

答 ※改正前55、改正後46世帯で、9世帯の減。

問 今回の改正による、5割軽減対象世帯の増減は。

答 ※改正前385、改正後394世帯で、9世帯の増。

問 今回の改正による、2割軽減対象世帯の増減は。

答 ※改正前319、改正後324世帯で、5世帯の増。

問 医療給付費の伸び率の現状は。

答 対前年比101%で、最近ほぼ横ばい状態。

問 今回の改正にともなう調定額は。

答 ※143万1200円の増。

※は、5月の月次処理時の試算による。

問 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 放課後児童支援員の総数と、男女の

内訳は。

答 6施設で総勢15人、全員が女性。

問 支援員15人の有資格者の内訳は。

答 保育士の資格者6人、教員免許資格者10人（幼稚園教諭6人、学校教諭4人）で、内1人は重複資格者。



宿題にはげむ駒寄第3学童クラブの児童たち

繰越明許費

歳出予算の経費のうち、年度内に支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に限り予算を繰り越して使用すること。

平成29年度から平成30年度に繰り越す事業

(万円未満は四捨五入)

事業名	翌年度繰越額
家屋確認調査業務	533万円
大榛橋架け替え事業（榛東村施行）	1,366万円
町道三国線道路改良事業	700万円
橋梁維持補修工事	2,348万円
水路施設管理整備基本計画基礎調査業務	230万円
開発等に伴う将来交通シミュレーション業務	223万円
都市計画決定図書作成業務	200万円
立地適正化計画策定業務	233万円
駒寄スマートIC大型車対応化事業	1億3,336万円
南下城山防災公園整備事業	1億3,700万円
空家等対策計画策定業務	400万円

賛否一覧

議案名	議員名	結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		賛成	反対	議決結果	富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	小池春雄	岸祐次	馬場周二
承認第1号	税条例の一部改正に係る専決処分の報告と承認…4ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第2号	国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分の報告と承認…4・5ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	税条例等の一部改正…5ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正…5ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	平成30年度一般会計補正予算…4ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第1号	固定資産評価員の選任について…固定資産の評価を所管する財務課長の人事異動によるもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥

議長は採決に加わっていないため「—」で表示

一般
質問

議員 6 人

町政を問う

6月定例会の一般質問は
5日および6日に行われました。
紙面の都合により要約してお伝えします。
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に
備えてある会議録で確認できます。
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した
議案と関係なく、町の行政全般にわたって、
議員個人が執行機関に質問し、
見解を求めるものです。
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、
1人60分以内の持ち時間があります。

■富岡 大志議員（8ページ）

1. 保健センターによる子育て支援に関して
2. 登下校の安全対策に関して
3. 役場のセキュリティ対策に関して

■大林 裕子議員（9ページ）

1. 子どもたちをめぐる諸問題について
2. 観光資源・文化財の整備について

■村越 哲夫議員（10ページ）

1. 自治体クラウドについて
2. 小、中学校の諸問題について
3. 独身男女の出会いの場づくりについて
4. 生活困窮世帯の自立支援制度について
5. 都市計画道路の早期整備について
6. 自治会役員及び防災について

■竹内 憲明議員（11ページ）

1. 船尾自然公園の現状と環境整備の見直しを
2. 高齢運転者の事故率減少策は
3. 高齢者の免許証自主返納の進捗状況は
4. 駒寄住民センターと学童クラブの出入口の
安全対策について

■小池 春雄議員（12ページ）

1. 鉄鋼スラグ問題
2. 高齢者福祉充実

■五十嵐 善一議員（13ページ）

1. 安全・安心なまち吉岡の実現に向けて
2. 町民と行政が協働するまち吉岡の実現に向
けて
3. 支え合う福祉のまち吉岡の実現に向けて

インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





とみおか たいし
富岡 大志 議員

保健センター 保健師10人は 必要

答 増員を視野に 考えている

問 保健センターの保健師は現在6人で、以前の一般質問の答弁から1人増員された。しかしまちの規模から10人は必要だと思うが。

答 健康福祉課長 吉岡町は若い子育て世帯の増加が顕著。国の少子化対策などもあ

り、健診業務や子育て支援施策に充分なスタッフが確保できていない。特に乳児検診の1層の充実のため専門スタッフも必要で、保健師を増員していくことを視野に考えている。

問 「子育て世代包括支援センター」は

厚労省通知では平成32年度末の設置が目標で、同センターに「保健師等を1名以上配置すること」とあるが、専属職員の配置に対する考えは。

答 健康福祉課長 専門職確保の必要性、必須業務の支援プラン

吉岡バイパス横断歩道薄れている

答 早期対応を要請

問 吉岡バイパスに、劣化して見えにくい横断歩道が複数。合同点検での状況確認から半年経過だが、現在の対応状況は。

答 産業建設課長 上申中で、警察側の

本年度工事リストに計上。まちとしても、交通状況の変化に対応すべく、早期対応を要請。抜け道として交通量の多いところで、

作成などの業務量も考慮し、慎重に検討。

問 その専門的な人材の確保を、早い段階からしてくべきでは。

答 健康福祉課長 指摘のとおりだが、採用計画との兼ね合いもあり、関係課と調整する。

人身事故が複数発生。重点的な対策を。

問 町民生活課長 より一層の安全対策に取り組む。自動車の速度抑制対策として、速度30キロの路面表示を警察に申請している。

答 公用車に視認性の高いラッピングと

ドライブレコーダー設置で、不審者対策で強力な効果が期待できる。再度検討を。

問 財務課長 ドライブレコーダーは順次設置中。ラッピングは費用対効果を踏まえ、マグネット式シートの活用など具体的な方策を検討。

答 総務政策課長 講習・訓練は定期的な実施がなく、警察と協議での実施や県の研修の参加呼びかけを検討。対応マニュアルは県作成のものがあり、改めて周知。

問 暴力をちらつかせた不当な要求、脅迫・威圧などの「行政対象暴力」に対する講習・訓練やマニュアル整備の状況は。

複数回事故が発生。重点的な安全対策を（老人福祉センター付近）



複数回事故が発生。重点的な安全対策を（老人福祉センター付近）



おおばやし ゆうこ
大林 裕子 議員

子どもたちの 遊び場の整備を

答 要望をふまえ 検討

問 子どもたちが遊べる遊具がほしいというパパ・ママたちの願いがある。役場周辺のふれあい公園や、吉岡温泉芝生公園に、遊び場の整備を。

答 産業建設課長 子育て環境の充実は重要。役場周辺の公園再整備の必要がある。要望をふまえ検討したい。防災公園にも複数の遊具設置を予定。

問 県1位の出生率の吉岡町。本町に住してもらうためにも子育て支援が大切。子育て世代包括支援センターへの考えと現状は。

答 健康福祉課長 予算がともなう。他事業との兼ね合いの中で考える。ロタは14、おたふくは15市町村で助成。

問 町長 いち早く設置しなければと思う。

答 健康福祉課長 複数の施設や場所に支援機能を持たせ、情報共有しながら、一部は外部委託も視野に入れて検討している。

※1 ロタウイルス予防接種に助成を

答 他事業との兼ね合いで考える

問 乳幼児が感染するロタウイルス胃腸炎と、おたふくかぜの予防接種の助成を望む。他市町村の状況は。

答 健康福祉課長 予算がともなう。他事業との兼ね合いの中で考える。ロタは14、おたふくは15市町村で助成。

問 地域子育て支援センターのほかに、保健センターも工夫して、日常的な遊び場開放や相談ができないか。

答 健康福祉課長 保健センターは、事業のない日は少ないのが現状。地域福祉交流施設の開放も考えられる。

の使用は必要では。

答 教育委員会事務局 長 混合名簿が学校現場にどんな影響があるか検討中。

問 船尾滝の復旧工事をやっているが、整備計画が必要と思うが、産業建設課長 現状復旧を第一に進める。

答 伊香保街道の農業や景観を生かし、県の農泊募集に参加を。

問 伊香保街道の農業や景観を生かし、県の農泊募集に参加を。



予防接種助成の拡大を「痛いけどがんばってね」

ミニ解説

※1 ロタウイルス胃腸炎 5歳までの乳幼児がほぼ感染するとされ、重症化することも多い。ワクチンは高額であり、他町村の中には1万5千円の助成をしているところもある。

※2 農泊 伝統的な生活体験を通し、農村地域の人々と交流を楽しむ。

※3 保存管理計画 文化財保存のための日常の維持管理計画。

答 産業建設課長 周辺市町村を参考に

問 貴重な遺跡「南下古墳群」の保存管理。検討。

答 教育委員会事務局 長 有識者と劣化を防ぐ方策を検討したい。



むらこし てつ お
村越 哲夫 議員

※自治体クラウドの導入は

答 具体的な手法の検討などを予定

問 まちでは自治体クラウドの導入は。

答 総務政策課長 「電算システムの共同

処理の検討部会」に参加し、共同処理の実現を目的に具体的な手法の検討などを行っている

く予定。

問 県内の自治体クラウドの導入は少ないと聞か。

答 町長 県内の導入状況は予定を含め

4割。

問 小学校の卒業式の華美な服装への対応は。

答 教育委員会事務局 長 学校では、卒業式の華美な服装を控

えていただくよう、PTA本部役員や保護者に対して、呼びかけている。

問 中学校の制服については価格が高い、購入の選択肢が少ないなどの意見があるが。

答 教育委員会事務局 長 制服は、中学生が公式な場所に着て

いっても恥ずかしくない服装と言える。3年間使用できるので過度な経済的負担にはつながらないと考えてる。

問 中学生の自転車事故対策は。

答 教育委員会事務局 長 中学生の自転車による交通事故を防

ぐために警察や交通安全会と連携。中学校安全教室や安全運転に心

がけるよう、啓発活動を毎年実施している。

問 独身男女の出会いの場づくりの催しを、まちでは以前開いていたが。

答 産業建設課長 結婚相談員を介して

結婚相談事業を行っている。当時は、対象者として、農業従事者が

中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見

極めながら事業を検討したい。

問 生活困窮者自立支援制度の中での学習支援事業の現状は。

答 町長 中学生を対

象に進学支援で学習面でも支援し、子どもが安心して通える居場所の提供を行っている。

大久保上野田線の県道昇格の進展は

答 平成39年度までに予定

問 半田南線の都市計画道路、大久保上

野田線の県道昇格などの進展は。

答 産業建設課長 渋

川市内の半田南線、吉岡都市計画道路「大久保上野田線」の県道昇格は、平成39年度までに着手予定の事業に位置付けされた。漆原南線の延伸や川久保踏切

の拡幅は、渋川市と連携し県や関係機関に働きかけていく。

問 自治体役員の選考選出過程の考えは。

答 町民生活課長 役員の選出などについて

は自治会連合会で協議していただき、まちとしては自治会連合会を通じて協力したい。

ミニ解説

※自治体クラウド
自庁舎での情報システムの管理・運用に代えて、外部のデータセンターを利用するもの。



拡幅が待たれる大久保上野田線



こいけ はるお
小池 春雄 議員

スラグ問題に 対する今後の 対応は

答 納得のいく回答 を得るため協議

問 大同特殊鋼渋川工場から排出された、鉄鋼スラグを含む再生

砕石を使用したまち発注17工事に対し、当社は「吉岡町及び群馬県と協議の上、誠意を持って対応する」との見解である。
そして議会としても

現地調査を行い確認してきた。その後2年経過したが、現状は。また今後の対応は。

答 町長 国土交通省・群馬県・渋川市で組織する鉄鋼スラグに関する連絡協議会の「鉄鋼スラグを含む材料の対応方針」にある3つ

の基本方針をもとに、協議を進めてきた。町民の不安解消が重要であると認識し、今後も納得のいく回答を得るため、大同特殊鋼に対し、生産者としての責任を求めていく。教育委員会事務局長

南下古墳公園の駐車場はスラグ・土壌の汚染が確認されたことから、碎石仕上げとなっていた駐車場の舗装被覆工事を実施。あくまでも保全措置であり、引き続き協議、環境への影響など監視を継続。

産業建設課長 7カ所のうち2カ所で土壌汚染が確認され、県で地下水の調査を実施。結果、地下水への影響は不確認。舗装されているため、工事などで再度掘り返す場合、処分費用を負担との回答を得る。具体的には、今後とも協議を続ける。

上下水道課長 路盤材などでスラグ砕石が使用された場所は9カ所である。環境基準値を超えた1カ所は、掘り起こすなどの必要が生じた時点で、処分費など費用負担をするとの合意を得ている。

土壌のみで環境基準値を超えるフッ素化合物が検出された場所では、鉄鋼スラグ製品と土壌汚染との因果関係など、再度問題解決に向け協議したい。

問 榛東村メガソーラー、まち水源に対する対策は。

答 上下水道課長 上野原浄水場の水源である阿久沢・障子岩で年4回水質検査を実施。基準値を超過する物質を含んでいないことを確認。健康への影響はない。

問 以前から福祉タクシー制度はあったが、本年度から相乗りタクシー制度が発足した。多くの人が利用しやすくするために、需要に応じた改善が必要だと思うが。

答 周知をはかり利用促進に

相乗りタクシー需要に応じた改善を

問 以前から福祉タクシー制度はあったが、本年度から相乗りタクシー制度が発足した。多くの人が利用しやすくするために、需要に応じた改善が必要だと思うが。

答 町長 事業の趣旨を多くの人に理解いただき、出歩くことが困難な人の移動の機会を支えていきたい。



土壌汚染が認められたが、地下水への影響はなかった宮田大藪線



いがらしよしかず
五十嵐 善一 議員

「災害時受援計画」 策定の現状は

答 地域防災計画 の見直しの中 で検討

問 「災害時受援計画」策定の現状は。

答 町長 今後、地域防災計画を見直す中で、受援計画を盛り込む考え。

問 災害時「応援職員確保システム」の運用実態と対応状況は。

答 町民生活課長 本システムは、被災

都道府県が窓口の「災害対応業務の支援」と、^{※1}対口支援に際し、総括支援員を派遣する「災害マネジメント支援」からなる。まちは

県の派遣要請にもとづき、協力していく。

問 災害時応援活動に関する協定の締結

状況は。

答 町民生活課長 株式会社カインズ、JA北群渋川、コメリ

災害センターなど、21団体と協定を締結済み。

問 大規模災害限定の消防団員制導入の考えは。

答 町民生活課長 本制度に関する情報

収集や、近隣市町村の動向などを見ながら、検討。

問 中小河川（特に、漆原地内の吉岡川）の河道掘削への取り組み状況は。

答 産業建設課長 渋川土木事務所

の予算要求では、不承認。予算要求を継続実施。

まちも要望を継続。

問 学校における防災対策の現状は。

答 教育委員会事務局 校長 学校保健安全

法に従い実施。学習指導要領などに沿って、発達段階に応じた防災

教育も実施。本年度、

県の「実践的安全教育総合支援」のモデル地域の指定を受けている。

問 避難所運営ガイドの作成を。

答 町民生活課長 避難所設定の見直し

なども含め、今後検討。

問 事前復興計画への取り組みは。

答 産業建設課長 周

辺市町村の取り組み状況などを踏まえ、

検討。

※2 オープンガーデン事業への取り組みを

答 住民と協調をはかりながら検討

問 オープンガーデン事業への取り組み

答 町長 「花と緑のぐんまづくり」の事業効果を継続してい



「花と緑のぐんまづくり」を受け、今後も期待される伊香保街道沿いの花いっぱい運動

くため、住民との協調をはかりながら、検討。

問 元気になるカフェ「よしおかロバ」の活用状況は。

答 町長 昨年12月7

日から本年3月末日まで、実施回数15回、延べ利用者597人、延べボランティア88人。

問 交流拠点としての、さらなる活用策の検討を。

答 健康福祉課長 子

ども食堂の開催を夏休み中に計画。学習支援の場として、夏休みの昼間の利用を検討中。

三三解説

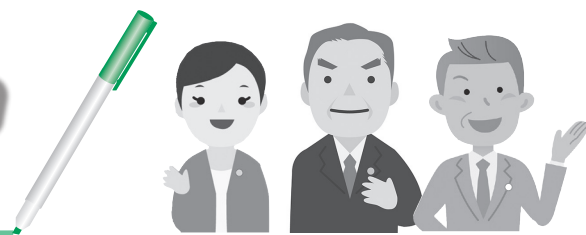
※1 対口支援

中国語でペアを組ませるという意味。被災自治体と支援自治体をペアにして復興に取り組み支援策。

※2 オープンガーデン

個人の庭を一定期間、一般の人に公開し、庭づくりなどを通して住民の交流を深めてもらう、英国発祥の活動。

リポート



それぞれ調査・研究に取り組んでいます。
ついて報告します。

地方創生対策特別委員会

小倉乾燥芋を地方創生の試金石に

地方創生とは、東京への一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけるための政策として開始されました。議会では、平成27年6月に地方創生対策特別委員会を発足しました。

まちでは、平成26年に、「吉岡町人口ビジョン」と「まち・人・しごと創生総合戦略」を策定し調査・研究してきました。

特別委員会ではこれまで地方創生法の趣旨を理解し、吉岡町に合った施策は何かを研究してきました。

また、地方創生加速化交付金で採択された、愛知県阿久比町「阿久比プレイガーデンプロジェクト」・滋賀県愛荘町「麻布aishoasaco 創造発信事業」・石川県内灘町「自転車のみち・内灘」・富山県朝日町「燻製事業による町おこし」など視察してきました。

吉岡町は東京から百キロ圏内に位置し、道路交通網の整備や駒寄スマートICの大型車乗り入れにともなう道路整備や駐車場の整備も必要となつてきます。

近隣市町村との連携で地域資源の活用がいよいよ大事となつてきます。

船尾滝や緑地運動公園、リバートピア吉岡温泉、農産物直売所（かざぐるま）などがあります。手つかずの天然資源の掘り起こし、活用を積極的に提言したいと思っています。

吉岡町の「小倉乾燥芋」は地方創生の試金石



まちの魅力を見出し地方創生に結びつける

石となれるのか、今後
も協力し、見守って
きたいと思っています。



自転車のまちとして地方創生
に取り組む内灘町を視察



特別委員会

まちには2つの特別委員会があり、
今回は活動状況に

議会改革推進特別委員会

各条例の見直しに迫る

議会改革推進特別委員会は、昨年6月議会で議会基本条例にもとづいた議会改革を集中的に取り組み、議会活性化をはかるため、7人の委員が選出され、特別委員会が設置されました。

委員会は、議会および議員の活動の基本的事項を定めた吉岡町議会基本条例、議員の政治倫理に関する規律の基本となる吉岡町議会政治倫理条例、同条例の施行規定、さらには議会に常任委員会設置のための吉岡町議会委員会条例、また吉岡町議会議員定数条例、町議会の議事を傍聴する人に対する議会傍聴規則など、23の条例、規則の議会運営に関連するすべての条項の内容

について、将来を見据えた合理的かつ社会情勢を考慮した観点からこれらの条例などの見直しを行うものです。

委員会設置後の委員会活動は、議会の開催月を除く各月に特別委員会を開会してきました。

最初には委員各自が

特に疑義のあると思われる条文や項目の内容について、46項目の議会改革検討項目を洗い出しました。それらの項目の内容について、現状や近隣町村との対比や、まちの現状や諸般の状況を考慮した町議会の将来にわたる活性化のために、細部にわたり文言の解釈や表現を検討し議論を交わしてきました。

昨年の10月には議会改革先進地とされる埼

玉県三芳町議会、神奈川県大磯町議会を視察し、両町議会から議会改革への取り組みや、その成果の説明を受けました。町議会の改革への糧となる内容を学んできました。

現時点での条例などの見直しは道半ばです

が、今年の12月議会には委員会としての報告を議会に提案するために、見直し作業を進めていく予定です。

なお、議会改革特別委員会の委員会活動経過は、議会広報で報告していく予定です。



議会改革に向けて、自由活発に議論を深める

まちの散歩道

102

家庭菜園

近野このの 義廣さんよしひろ（上野原）



会社勤めを終えた翌日、吉岡町に越して来ました。隣地の御主人が「空いているうちの土地で畑を作ったら」

と勧めてくれ、石を取ったり竹の根を掘ったりしてくれました。耕しているうちに、知人に「土作りが肝心だよ」と云われ持参の肥やしを入れアスパラの苗を植えてくれたのをきっかけに野菜作りの始まりとなり枯葉をメイン

様な気がします。これからは、ゆつくりと菜園作りを続けて、楽しんでいきたいと思っています。

楽しんでおいしい野菜を作ってください。



議会を傍聴して



おおぶち ひでみ 大渕 英美さん（溝祭）

質問内容に意義区分を傍聴会場に着いたら急件が入りUターン。後日配信録画で拝聴し

ました。町政の施策を問う人、広域課題に対する町の考えを問う人、さらに町の身近な課題への対応を問うなど、さまざまな質疑応答を聴くことができましたので、一点感じたことを記します。

それは、議員の方々の質問内容に区分付けをしたら、より質問の意義が傍聴者に伝わるのではないだろうかということでした。たとえば「急を要するもの、年度中の対策が必要、又将来のための取組みが必要」など

を質問の冒頭に宣言したらどうかと感じました。

是非、ご一考を。

貴重なご意見ありがとうございます。



私もひとこと

ともすると、ご近所の方とも顔を合わせる事もない日々もあります。このような機会を大切に、地域の方との繋がりを大事にして、友好を広げていきたいと思ひます。

人との繋がりが大切に



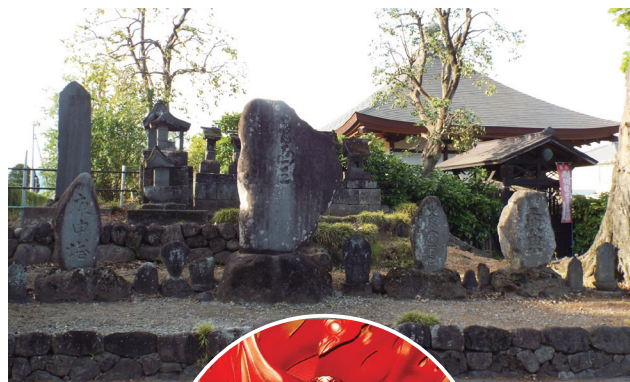
かばさわ み え こ 樺沢美枝子さん（陣場）

先日、自治会公会堂の掃除に行きました。日頃の自治会の方々への感謝の思いを込めて掃除をしました。皆さんとにぎやかに声を掛けながら、身体はしっかりと動かし、久し振りに汗を流しました。掃除終了後はお茶飲み会となり、身近におきた事や病院選定の情報、孫や家庭の事など、話が弾み楽しい時間を過ごしました。

地域の人とのコミュニケーションを大切にしていってください。



キラリよしおか古語り⑬



下野田の中央に華蔵寺と野田神社があります。華蔵寺は本山修験宗、総本山は京都の聖護院門跡。ご本尊様は、青色不動明王、火災には火の鳥が彫られています。藤原氏南家の末裔である、伊豆の狩野忠永によって1519年に開山されました。

忠永は、享徳の乱の後、文明9年(1477年)長尾景春を鎮圧すべく、上野の国に軍を進めた。その後、援軍を仰いだ上杉顕定と古河公方の成氏との間に和議が調い、白井城に入った顕定の命により忠永は、越後と関東を結ぶ兵站上の要害の地に狩野一族を配置した。延徳3年、北条早雲に伊豆を侵略され、忠永は佃村に屋敷を構え隠れ修験になり華蔵寺と号した。その後、忠永は野田村の地に華蔵寺と稻荷神社を創建し、祈願所として大いに栄えた。明治維新後、

「華蔵寺の百庚申は百字百様」

神仏分離令により稻荷神社を分離、神社合祀令により旧野田社、八幡宮、日枝社の合祀により、村社・野田神社となる。

華蔵寺8世の歙浦上人は、国学者であり書の収集家でもありました。残された書物は獅子園書庫として、吉岡町重要文化財に指定されています。弟は無幻道人で光格天皇に千字文を奉呈する光栄に浴しました。

華蔵寺にある無幻道人の石碑は、吉岡町の郷土カルタに「華蔵寺の百庚申は百字百様」とうたわれています。石碑の中央に青面王と深く刻まれ、まわりに庚申の文字が百字百通りの字体で書かれているのがいわれています。赤城神社の赤い大鳥居に掲げられてる「赤城山」の扁額も無幻道人の書です。

参考文献：吉岡村誌

編集後記

その昔、教養課程での地質学講義で「万能な溶媒は？」との教授の問いかけに、有機溶剤の名が種々上がるが、その答えは意外にも「水」。思えば太陽系で地球は唯一、表面に「液体の水」を持つ天体でもある。

「四大文明」は、大河流域の農業地帯に誕生した。今時、我が家の東に広がる漆原田圃は、利根の水を受け稲と化す。白い雄大な風車が、稲田の緑に際立つ。この雄姿も今年が最後かと思うと、感慨もひとしおである。

生活に潤いをもたらす水も、時に集中豪雨などで被害を及ぼす。平素からの備えの大切さを、人は過去の災害から学んだ。自然への畏敬の念を胸に、まずは水に感謝。

本だよりを読んでくださることに、また感想を寄せてくださることに感謝しつつ、広報誌作りに励んでいきたい。(五十嵐善一)

編集委員

委員長 金谷 康弘
副委員長 村越 哲夫
委員 高山 武尚
竹内 憲明
五十嵐 善一
大林 裕子
富岡 大志